

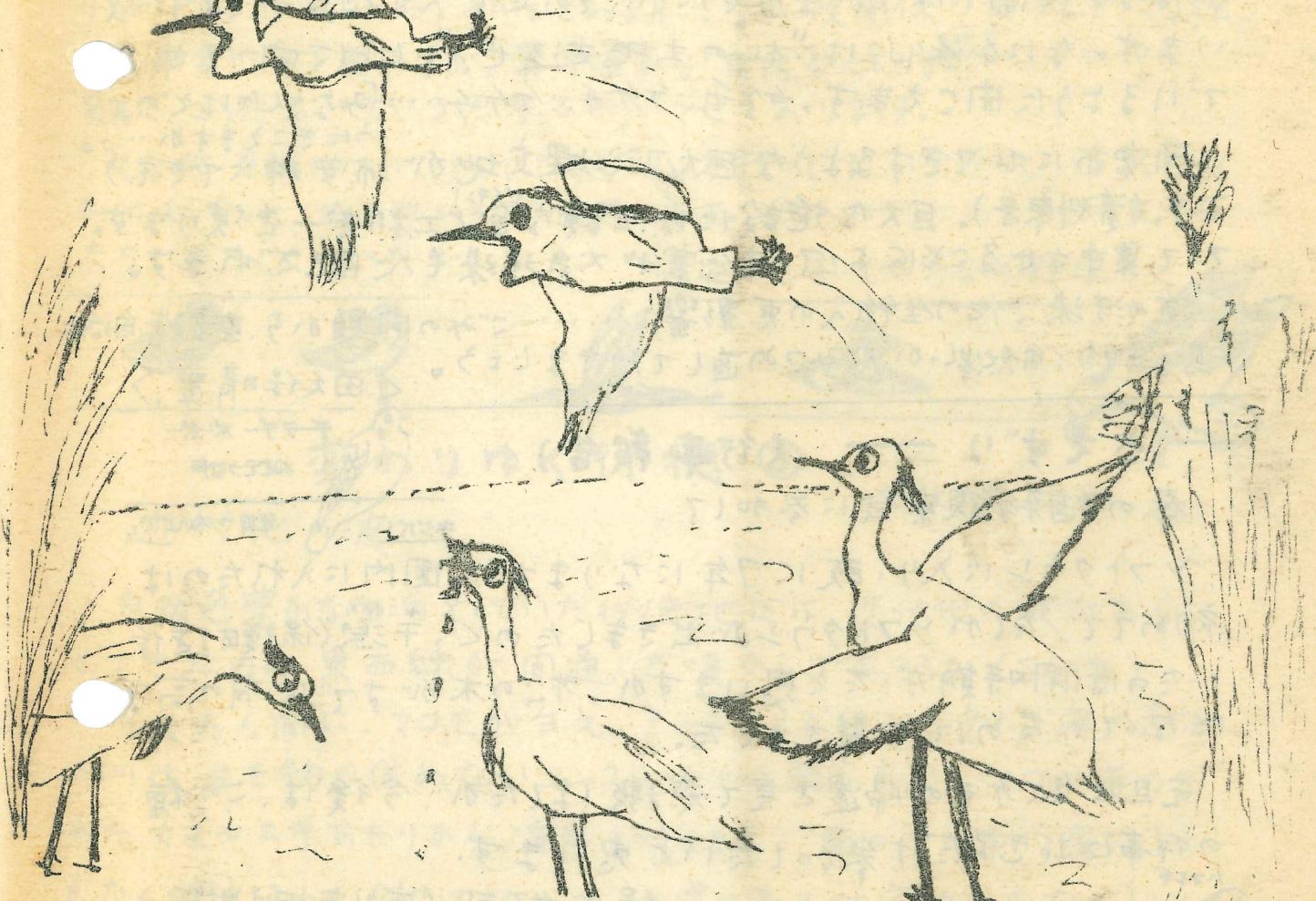
すずがも通信 No. 7

1981. 6. 1



振替仙台-6129 行徳野鳥観察会の会報

コサギ



私は市川の中にこんなにたくさんの鳥がいるのにおどろきました。

このごろは、外に出て鳥の声を聞くと、とても気になります。

見た鳥の中では、コサギがすぐ目にうかびます。田のむこうの小屋の近くで、コサギのまれか飛ばしたつてを見た時、とてもきれいだなーと思いました。こんどもまた行ってみたいですね。

81.5.3 いはまぜくわんせつ会にて

鳥越 弘子 (小学校5年)

— 司 手 音 —
電線鳥ではなくオオヨシキリ

以前、混田ヤアニ原である行徳の町にも、東南アムニアで冬をすくヒナをかえすためにオオヨシキリが今年もやってきました。

区画整理され、ところどころに残るアキ地や休耕田には、わざわざかりだかアシ原になっています。しかし、今では、アミのほ先が一番高いよい場所ではなくなってしまった。テレビ、アンテナや電線線の方がはるかに高い。しかたなくいか、その上で大きな声でさえずっています。なにか私には「オレの土地を返せ!」とヒトに向ってさけているように聞こえます。ケチ千、ケチ千、ケチ千……「みなさんはどのよ

浦安市にひいてきするような巨大ゴミ埋立地が浦安沖にできそうです。(資料参考)。巨大な施設には、巨額が金とエネルギーを使います。でいて集中させることによって、東公害や大気汚染も心配されます。

海の汚染、他の生物への悪影響……ごみの問題から、東京湾自治体・鳥・生物・自然等、かりとみつめ直していくましょう。
<田久保晴美>



— さえずり — (行事報告)

春の植物観察会に参加して



ソフトタウンに入り、既に7年になりますが、園内に入れたのは初めてで、たしかソフトタウンが出来ましたと、竿鳩(保護区)を作ったのは同時期だったと思いますが、木の木がすでに背の高さになっていたのに驚きました。

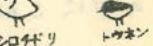
元旦にスズガモの帰還を見て感激しましたが、今後は、この種の行事に出きるだけ参加したいと思います。

保谷好司()

ハマセギ

スライド、シギ、チドリの言舌

ヌカヘカラ



ぼくは、シギ・チドリの見分けがあまりわかりません。そしてさう、ぼくはシギ・チドリのとくちょうました。とくちょうのないシギ、羽がソロバンのようなシギ、タカにいた羽のシギなどいろいろありました。でいて今までのスライドは、声がろくおじしたそので一匹での説明が、みじかく、とくちょうの説明が矢張かかったそのため、あまりカモやタカが

スズメなどの鳥の特ちょうは少しあります。4月12日のスライドは、中でもためになりました。みやざきこうじ

官崎恒嗣(前新浜小5年)

しんはましじし観察会(4月)



昨日は、偶然同じ時間に同じ場所で待ち合わせをしていて、飛び入りで参加させていただくことになり、私たちとしては、とても助かりました。そして親切に教えていただいたり、望遠鏡を使ったたり、ありがとうございました。私はとある小さな出版関係の会社で社会事をしている者ですが、毎月頃から“自然と人との調和”をテーマにああだ、こうだという思考をめぐらせてあります。

みなが、自然について少しでも考え心を持てほしいと思っています。そして私は私なりに、協力していきたいと思います。シギ、チドリにたくさんの方たちによろしく。1991.4.5

渡辺恵子()



変わりゆく行徳③

近代化の波

田久保文子

自然豊かな生活をしていた行徳地区に、近代化の波がおしませてきたのは東西線が開通した頃からである(1943年)

またたく間に、マコモが生え、タニシ、ミズスマシ、クナゴ等の遊ぶ小川は生き物の住めないコンクリートの水路に変り、山マヤ道のされたガマヤ土手あたりから海岸まで続々一面のアシ原は景を形もなく埋立られ、今ではマンションや建て売り住宅のたちならぶところと化してしまっている。

鳥の生活を知らなかったあの頃の私にはアシ原にどんな鳥が羽を休め又巣を造っていたかはわからぬのが、きっと四季を通して数十種の鳥が憩の場としてたどり、いたことでしょう。

小動物にとって、天災よりはるかに恐ろしいものは、ブリトーザーとされあやつる人間達ではないでしょうか?!

案 内 行 事

スライド×お話の会

6月14日(日) 午後3時～4時30分
観察舎：聴覚室

講師 松本恭子さん

テーマ 世界のツルの保護について

松本さんは、アメリカにある国際ツル財団(ICF)で、2年間続けて、ボランティアとしてツルのヒナの保護にあたらわれた。毎年2月に帰国されてから北海道のタンチョウの巣巣つが多い数の調査等を精力的に進めているのです。

アメリカでのアメリカンロジツルの保護の話等わかりやすく面白いお話を聞けると思いますのでふるてご参加ください。参加自由

8月 夏休み行事予告

夏休み(8月のお盆すぎ)に、鳥のペンダント作りの講習会(講師 堀留美子先生)を予定しています。(2回制) ご期待ください!

事務局より

観察舎にて野鳥の巣かし等の本類や蓮尾さんが育てた花の小鉢を販売しています。「稚木林の野鳥」著者 山口正信(国際ツル財団日本支部長)が入荷しています。定価1200円のところを著者のご好意により1000円の金会員には1宮引き(1080円)で販売できることになりました。ヨロシク!

- 友の会会員継続手続きをされない方はお早めにお手続き下さい。
- 行事は原則として参加自由ですでので本友達をおさむいの上参加下さい。
- 展示室が4月オーブンしました。まだ見学されていない方はぜひどうぞ
- 食官長の三浦邦彦さん(5月より市川清掃工場(高谷)の工場長に栄進云になりました)アリカトウゴザイマシタ。6月現在まだ後任の方が決まっておりません。

編集後記

- 行事ごとに原稿を集めるようになりました。身近な話題をおよせ下さい。
- 事務局担当の鈴木有さんに長男(千賀君)が誕生しました。オメテトウコザイマス!
- かべ新聞の前編集人の清水かづみ(4ヶ月ぶり)に来食官しました。新潟の方にはクロツグ(かづみ)君が99口です。カツブリ 16号は官崎君と川上君の編集ですヨロシク。

すずかち通信

発行人

亀谷 荘

No. 7 1981.6.1

事務局

鈴木 有夫

編集人

田久保晴季・文子

サギ山見学会

6月28日(日) 午後1時30分～3時30分
集合 観察舎前 1時30分

定員 30名(中学生以上)

予約制です。観察舎の方で受け付けます。

TEL 0473(97)9046

コサギ・ゴイサギ・ダイサギ等のサギが近くでみられます。ただし写真機の持ち込みは禁止いたします。

新浜自然観察会

6月7日(日) 7月5日(日) (8月2日)
(集合: 行徳駅前広場 9時30分)

パン・サギ類を中心とした水鳥の観察
(江戸川支水跡干潟、ハス田(まき地)を見学
午後 保護区の園内観察会に参加予定)
(6月7日～8月2日は6,7,8月は、
(千葉県野鳥の会といじに行ないます)